

HAMAMATSU

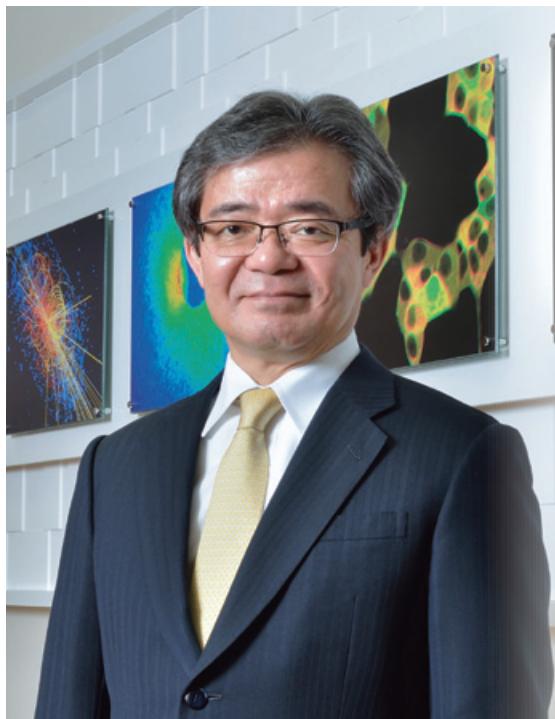
PHOTON IS OUR BUSINESS

第68期 中間報告書

平成26年10月1日から平成27年3月31日まで

証券コード：6965

浜松ホトニクス株式会社



株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに、第68期中間期（平成26年10月1日から平成27年3月31日）における中間報告書をお届けするにあたり、ご挨拶を申し上げます。

当社は、創業以来一貫して「光」を追究し、光技術を通して社会に貢献するという共通認識のもと、他社の追随を許さない高い技術力を背景に、事業を推進してまいりました。

当中間期につきましても、研究開発及び製品開発を推進するとともに将来に向けた設備投資を継続する一方で、長年培った技術を駆使し、製品の付加価値をさらに高めることで、売上高、利益の拡大に努力してまいりました。

この結果、当中間期における当社グループの業績及び通期の業績見通しは次のとおりであります。

連結財務ハイライト

売上高の推移



経常利益の推移



<第68期中間期連結業績> (前年同期比)
 連結売上高 : 62,229百万円 (9.8%増)
 連結経常利益 : 14,582百万円 (27.7%増)
 連結中間純利益 : 9,861百万円 (32.0%増)
 <第68期通期連結業績見通し> (前年同期比)
 連結売上高 : 124,300百万円 (10.9%増)
 連結経常利益 : 26,100百万円 (15.8%増)
 連結当期純利益 : 18,300百万円 (20.7%増)

今日、光技術は国内外の様々な分野を支える基盤技術となっております。しかし、光のもつ可能性に比較すれば、我々人類が活用している光技術はごく限られた範囲にすぎず、光の応用分野は今後も拡がりを見せるものと確信しております。

そのような中、国際連合により、2015年を「光と光技術の国際年（国際光年）」とすることが宣言されました。これは、全世界的に光とその応用の重

要性が認識されていることの表れであります。当社グループといたしましては、光技術の世界的リーディングカンパニーであり続けるために光のさらなる探究に努めるとともに、積極的な研究開発投資及び設備投資を実行し、競争力の高い製品の開発を進めることで業容を拡大し、株主の皆様のご期待にそえるよう引続き努力してまいります。

なお、平成27年3月31日現在の株主名簿に記載された株主の皆様のご所有株式を、4月1日をもって1株につき2株の割合にて分割させていただきます。

株主の皆様におかれましては、これまで以上のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

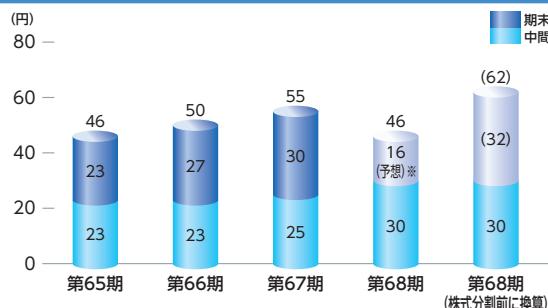
平成27年6月

代表取締役社長
 書馬 明

当期純利益の推移



配当の推移



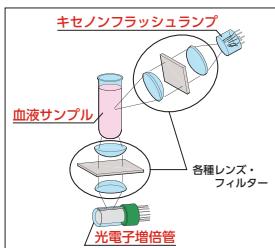
※当社は、平成27年4月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき2株の割合で株式分割を行いました。当期の期末配当金（16円の予想）は、株式分割前に換算いたしますと32円に相当いたします。

光電子増倍管

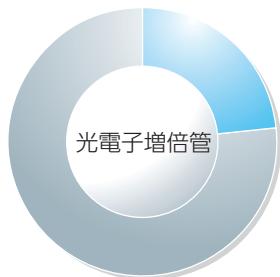
電子管事業

光電子増倍管は、医用分野におきまして、血液分析などの検体検査装置向けの売上げが、国内外における需要が高まる中、その高感度、高速応答特性を評価されて好調に推移いたしました。また、PETなどの核医学検査装置向けの売上げも堅調に推移いたしました結果、光電子増倍管の売上げは14,191百万円と前年同期に比べ9.1%の増加となりました。

【連結売上高の推移】



▲血液分析の概略図。血液サンプルに特殊な光を照射し、その血液サンプルから生じる光を光電子増倍管でとらえます。



売上高比率 **22.8%**

イメージ機器及び光源

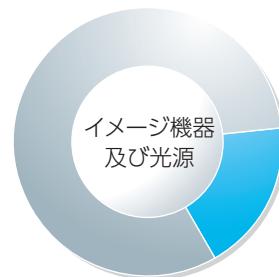
電子管事業

イメージ機器及び光源は、産業分野におきまして、X線非破壊検査用のマイクロフォーカスX線源が、インライン用途を中心にその高い信頼性・安定性を評価され、欧州及び国内において売上げを伸ばしました。また、シリコンウェハを高速・高品位に切断するステルスダイシングエンジンや大型パネルを高精度に接着するUV-LED光源の売上げも増加いたしました結果、イメージ機器及び光源の売上げは11,086百万円と前年同期に比べ9.9%の増加となりました。

【連結売上高の推移】



▲マイクロフォーカスX線源



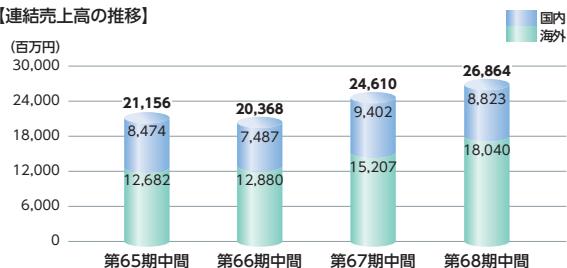
売上高比率 **17.8%**

光半導体素子

光半導体事業

光半導体素子は、医用分野におきまして、主力のシリコンフォトダイオードの売上げが海外を中心に大幅に増加したほか、フラットパネルセンサも歯科用を中心に堅調に推移いたしました。また、産業用ロボット等の制御などF A（ファクトリーオートメーション）分野におけるフォトICやLEDの売上げも増加いたしました結果、光半導体素子の売上げは26,864百万円と前年同期に比べ9.2%の増加となりました。

【連結売上高の推移】



▲各種シリコンフォトダイオード



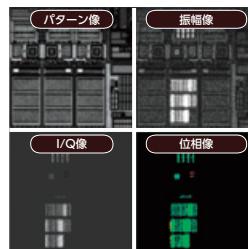
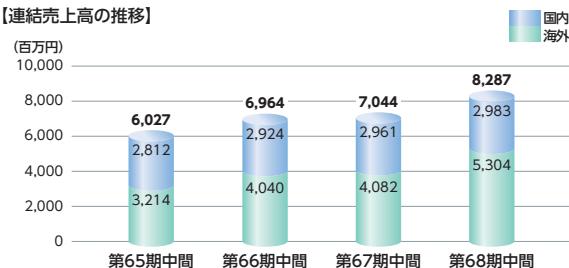
売上高比率 **43.2%**

画像処理・計測装置

画像計測機器事業

画像処理・計測装置は、半導体故障解析装置の売上げがアジア地域や国内における需要拡大を受け引き続き好調に推移したほか、デジタルカメラも顧客ニーズに応えた高速・低ノイズなどの高い性能を評価され、生命科学やバイオ分野を中心に売上げを伸ばしました。さらにX線ラインセンサカメラの売上げも食品検査用を中心に堅調に推移いたしました結果、画像処理・計測装置の売上げは8,287百万円と前年同期に比べ17.7%の増加となりました。

【連結売上高の推移】



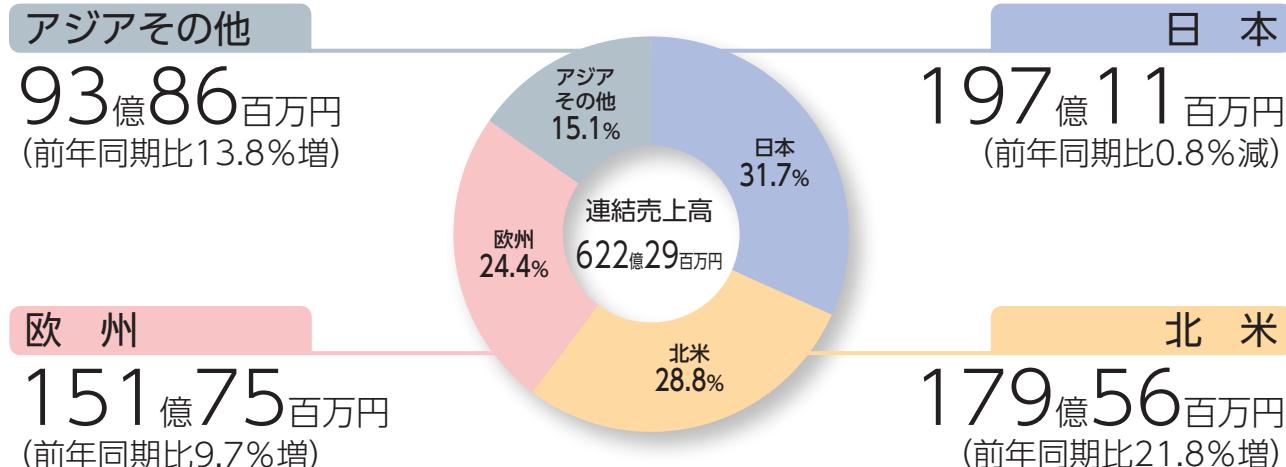
▲半導体故障解析装置による撮像例。
一回の計測で同一箇所を多様なパターンで画像化することで、不良箇所の特定精度が向上するとともに、解析時間を大幅に短縮できます。



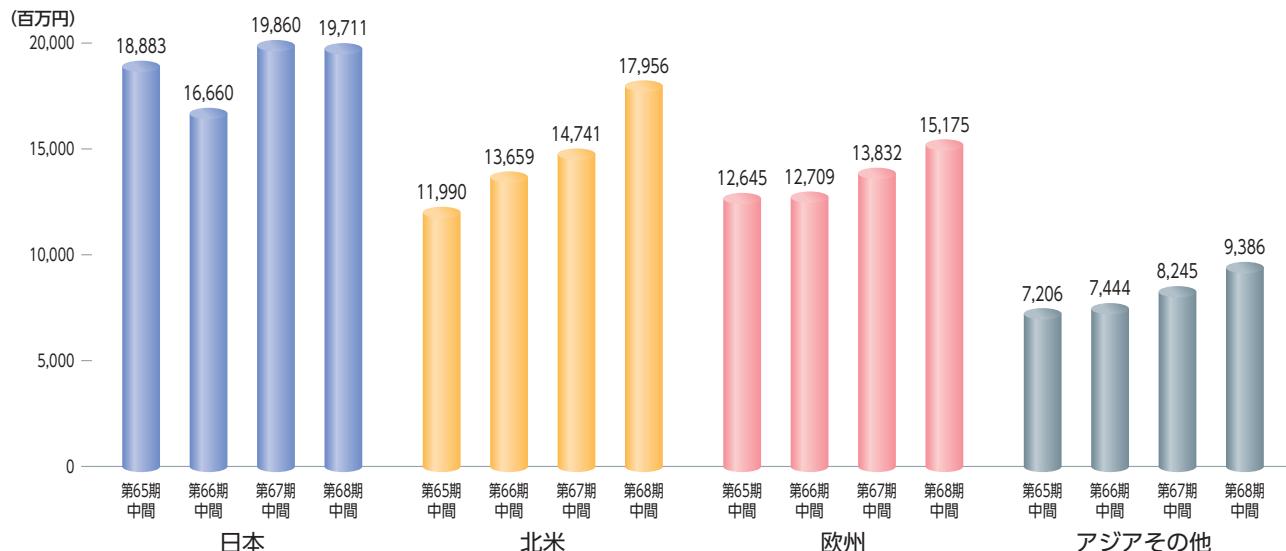
売上高比率 **13.3%**

顧客所在地別

●売上高構成比 (第68期中間期)



●売上高推移



■ ネットワーク



国内拠点

本社事務所	静岡県浜松市
工場	本社工場／新貝工場／天王製作所／常光製作所／都田製作所（いずれも浜松市）／豊岡製作所／ ^{みづ} 三家工場（いずれも磐田市）
支店・営業所	東京支店・東京営業所／仙台営業所／筑波営業所／中部営業所（浜松市）／大阪営業所／西日本営業所（福岡市）
研究所	中央研究所／産業開発研究所（いずれも浜松市）／筑波研究所

連結子会社（国内）

株式会社光泰
高丘電子株式会社
浜松電子プレス株式会社
株式会社磐田グランドホテル

連結子会社（海外）

米国	ハママツ・コーポレーション ホトニクス・マネージメント・コーポ
欧州	ハママツ・ホトニクス・ドイチュラント・ゲー・エム・ペー・ハー ハママツ・ホトニクス・フランス・エス・ア・エール・エル ハママツ・ホトニクス・イタリア・エス・アール・エル ハママツ・ホトニクス・ユー・ケイ・リミテッド ハママツ・ホトニクス・ノルデン・エイ・ピー ハママツ・ホトニクス・ヨーロッパ・ゲー・エム・ペー・ハー
アジア	浜松光子学商貿（中国）有限公司 北京浜松光子技術股份有限公司 浜松光子学科学儀器（北京）有限公司 台湾浜松光子学有限公司※

※台湾での売上拡大を図るため、平成26年12月5日付で設立いたしました。

当社グループでは、長年にわたり培ってきた独自の光技術を駆使し、バイオ、医療、情報、通信、エネルギー、物質、宇宙・天文、農業等の分野において、新しい知識、新しい産業の創成を目指した基礎研究を推し進めるとともに、新製品の開発及び既存製品の高機能化・高付加価値化を目指した開発を行っております。

以下に、当中間期におけるその成果の一部をご紹介します。

[基礎研究分野]

■ テラヘルツ量子カスケードレーザ

半導体レーザの分野におきまして、テラヘルツ（THz）帯と呼ばれる波長領域における量子カスケードレーザ^[1]の研究を進めております。THz波は、電波と光の両方の特性を併せもつことから、非破壊検査や医用など幅広い分野での応用が期待されております。しかしながら、従来の方法ではTHz帯でのレーザ発振には液体窒素などによる極低温冷却が必要であり、これまで産業応用はほとんど進んでおりませんでした。

このような中、当社は、量子カスケードレーザ内部で差周波^[2]を発生させる技術を用いて、室温でのTHz波発生を可能とするとともに、従来とは原理的に異なる独自に考案した構造を用いて作製した新型のTHz光源により、世界トップクラスの波長変換効率を実現いたしました。これによりTHz波の出力向上が可能となります。

今後は、この新型の差周波発生THz量子カスケードレーザのさらなる高性能化により、室温での連続動作、高出力化、連続波長可変を実現し、長年の課題であったTHz波の産業応用を目指してまいります。

[開発分野]

■ 高出力で省電力・長寿命なUV-LEDユニット

紫外線（UV）照射強度を当社従来品の約7倍と高出力化することで、メタルハライドランプと同等の出力を実現しつつ、省電力・長寿命を実現したUV-LEDユニットを発売いたしました。

印刷業界では、短納期・高生産性を実現させるとともに多様化する素材に対応するため、紫外線を照射することで瞬時に硬化するUVインキを用いる印刷手法が浸透しております。インキを硬化させる光源としては、主としてメタルハライ

[1] 光のエネルギーが小さい中赤外から遠赤外の波長領域においても高い出力を得ることが可能な半導体レーザです。

[2] 非線形光学効果により2つの異なる波長の光の差に相当する光が発生する現象です。

ドランプが使用されておりますが、消費電力が大きいことに加え、発生する熱が印刷物に影響を与えるなどの問題がありました。一方、LED光源には、高効率ではあるものの投入できる電力に限界があり、紫外線照射強度が十分ではないという問題がありました。

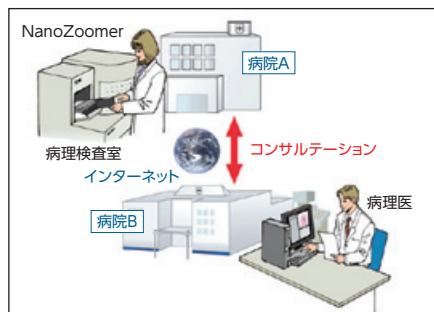
これらの問題を解決するために、当社は、設計及び材料の最適化により放熱特性を上げて投入電力を大幅に増やすことを可能としたことで、メタルハライドランプと同等レベルの紫外線照射強度を実現したUV-LEDユニットを開発いたしました。本製品はLEDのため、メタルハライドランプの3分の1以下の消費電力で、10倍以上の長寿命を実現でき、メンテナンスコストの大幅な削減も可能となります。

UV-LED光源は、印刷以外にも、コーティング剤の乾燥や精密部品の接着、高性能フィルムの貼りあわせなど幅広い用途に応用可能です。今後、各種用途に応じて製品ラインナップを拡充してまいります。



▲UV-LEDユニット

❖ 小型・高性能バーチャルスライドスキャナ「NanoZoomer-SQ」



▲病理診断ネットワークの概略図。遠隔地からでも病理医による病理診断が可能となります。

NanoZoomerは、組織や細胞などのガラススライドを高速でスキャンし、高解像度のデジタル画像に変換するシステムで、病理診断^[3]ネットワークの構築などに用いられております。

このたび、高精細な画質と装置信頼性はそのままに、必要な機能を絞り込むことで大幅な低価格化を実現するとともに、設置スペースに制約のある中小規模の病院などにも導入しやすいようコンパクトかつ軽量化を実現したNanoZoomer-SQをラインナップに追加いたしました。

本装置により、地域の病院・診療所と拠点病院をネットワークでつなぐことで、より充実した病理診断ネットワークの構築などが可能になり、医療の質の向上に貢献いたします。

[3] 人体から採取された組織の一部を顕微鏡で観察し病気の有無や種類を診断する行為です。診断は主として病理医が行いますが、病理医の絶対数が少ないことに加え首都圏に集中していることから、地方での病理医不足が深刻な問題となっております。

中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

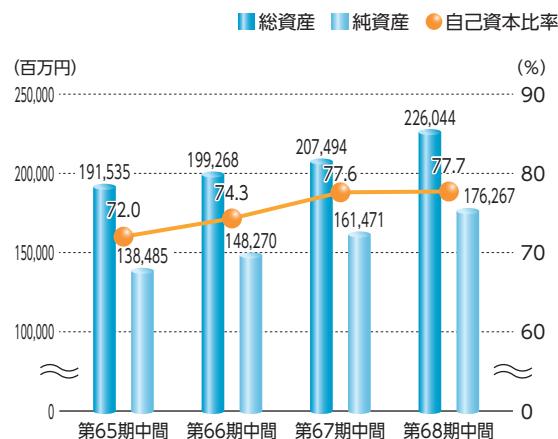
科目	当中間期 (平成27年3月31日現在)	前中間期 (平成26年3月31日現在)	前期 (平成26年9月30日現在)
資産の部			
流動資産	147,823	137,659	142,947
固定資産	78,220	69,835	72,464
有形固定資産	65,445	58,200	61,623
無形固定資産	1,762	1,745	1,735
投資その他の資産	11,012	9,889	9,105
資産合計	226,044	207,494	215,412
負債の部			
流動負債	35,353	30,206	36,046
固定負債	14,423	15,816	10,550
負債合計	49,776	46,022	46,596
純資産の部			
株主資本	169,866	159,155	164,828
資本金	34,928	34,928	34,928
資本剰余金	34,672	34,672	34,672
利益剰余金	106,316	95,604	101,278
自己株式	△6,050	△6,049	△6,050
その他の包括利益累計額	5,776	1,757	3,445
その他有価証券評価差額金	659	493	695
為替換算調整勘定	3,938	1,263	1,589
退職給付に係る調整累計額	1,178	—	1,160
少数株主持分	624	558	541
純資産合計	176,267	161,471	168,815
負債純資産合計	226,044	207,494	215,412

中間連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	当中間期 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	前中間期 (自平成25年10月1日 至平成26年3月31日)	前期 (自平成25年10月1日 至平成26年9月30日)
売上高	62,229	56,680	112,092
売上原価	29,196	27,181	53,451
売上総利益	33,032	29,498	58,641
販売費及び一般管理費	19,254	18,420	36,975
営業利益	13,777	11,078	21,665
営業外収益	918	443	1,074
営業外費用	113	99	208
経常利益	14,582	11,422	22,531
特別利益	63	2	13
特別損失	49	14	82
税金等調整前中間(当期)純利益	14,596	11,410	22,462
法人税等	4,708	3,923	7,276
少数株主損益調整前中間(当期)純利益	9,888	7,487	15,185
少数株主利益	26	19	29
中間(当期)純利益	9,861	7,468	15,155

■ 総資産／純資産／自己資本比率



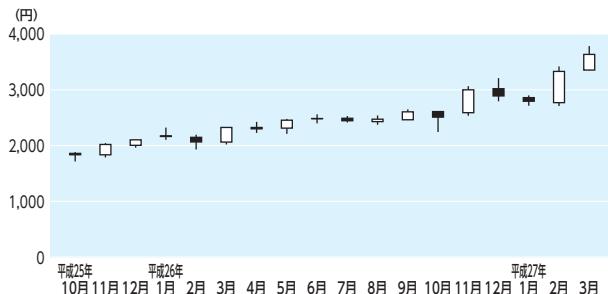
●会社の概況

設立 昭和28年9月29日
 資本金 34,928百万円
 従業員数 3,125名
 主要営業品目 光電子増倍管、イメージ機器、光源、光半導体素子、
 画像処理・計測装置

役員

取締役会長	晝馬輝夫
代表取締役社長	晝馬明
代表取締役副社長	大塚治司
代表取締役専務取締役	山本晃永
代表取締役専務取締役	竹内純一
常務取締役	飯田等
常務取締役	鈴木賢次
常務取締役	武村光隆
常務取締役	原勉
常務取締役	吉田堅司
取締役	内山博文
取締役	小池隆司
取締役	嶋津忠彦
取締役(社外)	伊勢清貴
常勤監査役	森和彦
常勤監査役	水島廣
監査役(社外)	浜川雅春
監査役(社外)	榎祐治

●株価の推移※



※平成27年4月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき2株の割合で分割いたしましたので、株式分割を過年度に遡及して調整した修正株価で表示しております。

●株式事項

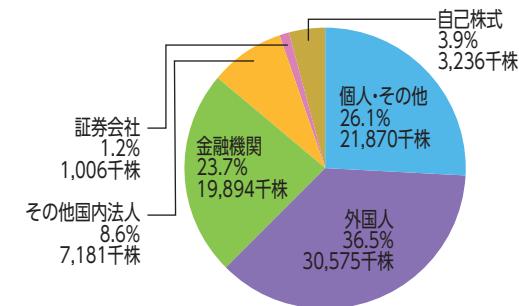
■発行済株式総数 83,764,984株

■株主数 23,293名

大株主	株式数
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,528,700株
トヨタ自動車株式会社	4,200,000株
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー	3,023,664株
浜松ホトニクス従業員持株会	2,866,635株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	2,265,000株
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,205,700株
晝馬輝夫	1,576,442株
野村信託銀行株式会社(投信口)	1,509,400株
ザチェースマンハッタンバンクエヌエイ ロンドンスペシャルアカウントナンバーワン	1,151,468株
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505225	1,134,364株

(注) 上記のほか、自己株式3,236,365株があります。

■所有者別株式分布状況



■第68期中間配当金 1株につき 30円

●株主メモ

◇株式に関する各種手続きのお申出先◇

1. 証券会社に口座をお持ちの株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定等のお手続き

お取引されている証券会社等
にお申出ください。

2. 未払配当金の支払い及び証券会社に口座をお持ちでないため特別口座が開設されました株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求、配当金受取方法の指定等のお申出先

三井住友信託銀行株式会社

0120-782-031 (通話料無料)

(受付時間 土・日・祝祭日を除く9:00~17:00)

事業年度	10月1日から翌年9月30日まで
定時株主総会	毎年12月
定時株主総会基準日	9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して一定の日を定めます。
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 上記のお問い合わせ先 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行事務センター 電話 0120-782-031 (通話料無料) なお、取次事務は三井住友信託銀行株式会社の全国本支店でっております。
単元株式数	100株
公告方法	電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.hamamatsu.com/ja/ir/index.html

HAMAMATSU

PHOTON IS OUR BUSINESS

URL <http://www.hamamatsu.com>

UD
FONT

